

国立研究開発法人 防災科学技術研究所
防災情報研究部門（兼）総合防災情報センター
研究員 水井 良暢 様

ご支援へのお礼

前略 まだまだ厳しい暑さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

6月に発生した山形県沖地震では、被災地の社協として初めての対応となった私どもに対して、丁寧にアドバイスをいただきましたことに厚くお礼を申し上げます。

このたびは、災害ボランティアセンターを設置せずに、ボランティアコーディネート等の業務を行ってきましたが、屋根瓦の落下などの被害が大きかった温海地域を中心に、約1か月間で活動件数38件、計284名の方々からボランティア活動を行っていただきました。遠くは沖縄県から駆け付けてくれた方もおり、全国各地から様々のご支援をいただいたおかげで、瓦礫のかたづけや酒蔵の酒瓶洗浄の活動は予想よりも早く終わることができました。

被害を受けた方々は、瓦工事の手配はもちろんのこと、高齢者だけで暮らしている方は修理してそこで暮らすか離れて住んでいる子どものところに転居するか等々、平穏な生活を手に入れるにはまだ時間がかかり、福祉的な面で支援をしていく必要がある方々もいる状況にあります。

市社協では、そのような方々への支援を行政などと協力して行っているところです。

発災直後の大変な状況の時に、貴殿をはじめ支援団体の皆様に迅速での的確なご指導や様々な情報提供をいただきましたことに心から感謝を申し上げますとともに、今後ともご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願ひいたします。

全国をみれば、猛暑、台風、地震等の災害が頻発しており、支援団体の皆様が活動する場面も多いかと思いますが、くれぐれもご自愛くださるようお祈りいたします。

書面にて、失礼とは存じますが取り急ぎお礼とさせていただきます。

草々

令和元年8月

山形県鶴岡市泉町5-30

鶴岡市社会福祉協議会

ボランティアセンター 所長 半澤 活

鶴岡市ボランティアセンターだより

発行・お問合せ
鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市ボランティアセンター
〒997-0033 鶴岡市泉町 5-30

「何かお手伝いを…」という
多くの皆さんのこころに感謝 ❤

山形県沖地震発生！

鶴岡市温海地域等で震度6弱



大勢のボランティア…遠くは沖縄から！

6月22日から7月18日までの間、鶴岡市内で実施されたボランティア活動の件数は38件、活動人数は284名でした。山形県内だけでなく、遠くは沖縄県や兵庫県からも駆け付けていただき、全国各地からご支援をいただきました。また、昨年豪雨災害で災害ボランティアセンターを設置した戸沢村社協職員はじめ、石巻市、大崎市等以前大きな災害を経験してきた地域からも物心両面にわたり、たくさんの皆様から温かいご支援をいただきました。

注意！



全国の災害現場で起きている「悪徳業者や団体等」による高齢者宅への訪問が、温海地域や豊浦地区などでもみられました。屋根の補修などのやり直しが必要だと言って、後で多額の請求をされることもありますので、各地域ぐるみでの注意喚起や突然の訪問者には安易に頼まない等の対応が必要です！

発災直後 独自に街頭募金を行ってくれました！

NPO法人鶴岡災害ボランティアネットワーク（村井勢一代表）では、山形沖地震で被害を受けた方のためにと6月22日と23日に、鶴岡市内のスーパーで街頭募金を行いました。市民の方々からご協力をいただいた募金は、2日間で10万円を超えたとのことです。同法人では、被害が大きかった小岩川地区自治会に訪問をして、「この募金をぜひ役立てて下さい」と自治会長にお渡ししました。



〈40才代女性〉

被害に遭われた方々は、本当に大変だと思いました。今回、東日本大震災でいっしょにボランティア活動をした人たちと現場で再開できて、とても心強く感じました。

ボランティア
さんより

〈20才代男性〉

災害のボランティア活動は初めてでしたが、現地は大変な状況だったので、お手伝いをすることがきて本当によかったです。ベテランの皆さんの活動はさすがでした。